

ひろさき 市議会だより

平成27年3月発行 第38号

12月定例会・議案など	2
委員会等活動報告	2～3
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の行政視察など	8

平成26年10月21日から平成27年1月18日までの出来事を掲載しました。

弘前城と下乗橋
～『ひろさきひとまち百景』から～



このイラストは、制作者である津軽ひろさきマーチング委員会の承諾のもとに、使用しています。

議 会 ト ピ ッ ク ス

議会制度等調査特別委員会が最終報告

平成23年第4回定例会において設置され、議員定数、報酬等、よりよい議会のあり方などの議論を深めてきましたが、12月19日の定例会本会議で最終の報告を行い、解散しました。
(8ページに関連記事)

産業振興対策等調査特別委員会・要望活動

- 11月18日 東北地方整備局 (仙台市)
- 11月19日 国土交通省、資源エネルギー庁 (東京都)
- 12月19日 本会議で中間報告

国土交通省及び東北地方整備局では、岩木川中流部の治水事業の整備促進についての要望・意見交換を行いました。

資源エネルギー庁では、小規模地熱開発への支援について、面会した岡本燃料政策企画室長に直接要望書を提出しました。



池内国土交通省水管理・国土保全局長に要望書を提出

国土交通省・要望事項の概要

岩木川中流部の治水事業の整備促進について

1. 公共事業関係予算の確保について
2. 治水事業の促進について
3. 岩木川中流部無堤区間の堤防整備の早期完成について

資源エネルギー庁・要望事項の概要

小規模地熱開発への支援について

1. 固定価格買取制度の価格・期間の維持
2. 地熱資源開発調査事業費助成金の継続
3. 地熱開発理解促進関連事業支援補助金の継続

平成26年第4回定例会

市長提出議案 47件

12月補正後の 平成26年度予算

一般会計 833億1233万5千円
 (12月補正額 21億4726万4千円)
 特別会計 434億7464万1千円
 (12月補正額 805万4千円)

○平成26年度弘前市一般会計補正予算(第10号) 補正額 17億5741万円
 給与改定等による人件費の補正、ふるさと納税寄附金推進事業等に係る経費の追加のほか、8月の豪雨災害に係る農業用施設及び土木施設災害復旧に係る経費、9月の降ひょう災害により被害を受けた農業者への追加支援(金融機関からの借入に係る利子及び保証料助成)に係る経費の計上などが主な内容です。

○平成26年度弘前市一般会計補正予算(第11号) 補正額 3億1878万7千円
 平成26年産米の価格下落対応関係経費のほか、運動公園整備事業として、はるか夢球場の災害に対応した照明設備の整備に係る工事費について計上したものです。

委員会における審査

質疑等の一部を委員長報告から抜粋して掲載します。

特別職の給料、議員報酬

問 議案提出に当たり、特別職報酬等審議会を経たのか。

答 当該審議会は議員報酬の額や市長などの特別職の給料等の額について審議するものであるため、今回は意見を聞いていない。

指定管理者の指定について

弘前市民会館

問 苦情を受けるシステムをどのようにするのか。

答 指定管理者からは、アンケート等を行いデータ化することなどが提案されている。市もモニタリング制度による点検評価の結果を公表し、管理運営に反映させていきたい。

弘前市教育センター等

問 地域住民、利用者の声の内容は。

答 暑い寒いといったもののほか、駐車場が狭い、足りないという声が一番多い。

○弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案

○弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案

○弘前市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案

平成26年度における一般職の国家公務員の給与改定に準じ、併せて地域における民間事業の従事者の給与等の状況を勘案して、期末手当の支給割合を改定するものです。

○指定管理者の指定について

下記の施設の指定管理者を指定することについて、議会の議決を求めたものです。

- ・弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター
- ・弘前市民会館
- ・星と森のロマントピア天文台
- ・弘前市教育センター等
- ・弘前駅城東口駐車場等



新たに指定管理となる弘前市民会館

請願 3件

- 集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書採択の請願 ……不採択
- 要援護世帯への「福祉灯油」支給に関する請願書 ……不採択
- 行政視察の調査目的、及び調査内容、などの報告書を、一般公開にする請願 ……不採択

陳情 1件

- 平成27年度私立幼稚園助成に関する陳情書
- ※陳情書は議員に参考配付しました。

委員会等活動報告

厚生常任委員会

市体育協会とのスポーツ振興懇談会

10月24日(金)

- ①市内体育施設合同視察
市民体育館、河西体育センター、市海洋センター、運動公園・克雪トレーニングセンター
- ②スポーツ振興懇談会
(サンパレス秋田屋)

医師会役員との懇談会

10月27日(月) 弘前市医師会館

- ①最近の医療情勢について

議員全員協議会

11月21日(金) 市役所

- ①自治基本条例素案(改訂版)



医師会役員との懇談会

議会制度等調査特別委員会については8ページ、産業振興対策等調査特別委員会については1ページに、それぞれ掲載しています。

一般質問

各質問者が執筆しました質問・答弁の要約を掲載いたします。
※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



菊池 勲
(無所属市民の会)

行政のICT活用による新たな政策

問 ICT活用によるペーパーレス化についての取り組みは？

答 モバイル端末を会議等で活用することは、資料の用紙代等のコスト削減や業務の省力化が考えられる。また、モバイル端末は、職員のワークスタイルの見直しの可能性も秘めている。今後は、先進自治体を参考にし、効率的かつ計画的な導入方法の検討を進めてまいりたい。

今後の新たな子育て支援政策の可能性

問 子育て支援住宅制度の創設準備の現状は？

答 子育て世帯へ良質で低廉な家賃の住宅を供給することで、経済的負担を軽減し、弘前市駅前住宅の空き部屋を活用して制度化しようとするものである。市外からの転入者も積極的に受け入れ、若者による活力ある街を目指すものであり、現在準備を進めている。



谷川 政人
(憲政公明)

合併の検証と対策について

問 旧岩木地区の今後の観光振興策は。

答 岩木山周辺の豊富な地域資源を活用した施策を盛り込んだ、新たな観光振興計画を策定するとともに、インバウンドの取り組みも促し、岩木地区の活性化を図ってまいりたいと考えている。

問 星と森のロマントピア・そうまの経営状況と今後の地域振興策は。

答 平成25年度末の貸借対照表上の純資

産額はマイナス約2500万円となっており、現状のままでいくと同法人が解散せざるを得ない状況。これを回避するためには、市または民間から新たな出捐（しゅつえん）あるいは出資等が必要であり安定して運営できる方法を現在検討している。星と森のロマントピアは、相馬地区活性化の拠点施設であり、健康増進やスポーツ合宿、教育旅行などをキーワードに誘客を図り、地域振興に繋げる。



今 薫
(無所属)

市内の小中学校の修理状況について

問 最も多い要望は何か。

答 雨漏り対策を含む校舎や屋内運動場の屋根の改修、水はけの悪化や土ぼこりの飛散が著しくなっている屋外運動場の改修、トイレの洋式化、校地を囲んでいるフェンスの修復などである。

問 今後の対応について。

答 平成27年度をもって耐震化工事に目途がつくことから、平成28年度以降

は修理・改修要望の多い屋根や屋外運動場の改修、トイレの洋式化などについて中期財政計画に盛り込み、財源を確保しながら、計画的に改修していく。

〈その他の質問項目〉

○弘前市の子供たちをどのように育てていくのか

○弘前市の豪華客船に対してのインバウンド対策について



栗形 昭一
(無所属)

基金の繰替運用について

問 4月1日から年度末まで約95億円から100億円の基金を常時繰替運用しているが、繰替運用しない場合の収支状況について問う。

答 平成25年度の各月末の収支状況は、平成26年4月及び5月の出納整理期間を含めた14カ月のうち8カ月がマイナスになっている。マイナスが一番大きいのは2月末の108億5663万2187円である。

その要因は、歳入の増加に対し市民会館大規模改修や学校改築事業などの大型建設事業や災害復旧工事関係による歳出の増加の方が大きくなったためである。一時借入金は3月31日に発生したが、翌4月1日に繰替運用し返済している。

平成26年度の収支状況は4月から10月までの7カ月のうち3カ月がマイナスになっている。10月末現在は36億8649万6140円のマイナスである。

議会基本条例策定委員会

条例素案の策定 (H26. 6 ~ H26. 12)

委員会では会議を8回開催し、弘前市議会の基本理念となる議会基本条例について協議を重ね、条例の素案を策定しました。

〈条例素案の内容〉

- ①議会及び議員の活動原則
- ②市民と議会との関係
- ③市長等と議会との関係
- ④議会の機能の充実
- ⑤議会の体制整備
- ⑥議員の政治倫理、身分及び待遇
- ⑦他の条例との関係及び見直し手続等

パブリックコメント募集

(H26. 12. 22 ~ H27. 1. 13)

条例素案に対する意見や提案を募集するパブリックコメント（意見公募手続き）を実施しました。

市民の皆さまからは18件（4名）の意見が寄せられました。

今後は、寄せられた意見も参考としながら、市議会として、条例の策定に向け、さらに協議していきます。

なお、意見への対応については、市のホームページで公表します。



加藤 とし子
(弘前市民クラブ)

ごみ集積ボックス設置事業費補助事業の実績と設置状況について

問 申請数と設置場所の確保に苦慮する町会への対応について問う。

答 11月末現時点で申請数60件、設置基数101基。27年1月末までを申請期限とし、最終的には25年度の設置基数60基の2倍程度の実績となる見込みである。また、ごみ集積ボックス設置場所の確保が困難な住宅密集地域については、今年度、

モデル的に折りたたみ式の集積ボックスを配布して実証実験を行い、その結果を踏まえて、貸与などの施策を検討する。
<その他の質問項目>

- 毎戸区域とステーション区域の一般廃棄物の収集運搬状況
- 弘前市男女共同参画プランの状況
- 弘前市旧第八師団長官舎利活用事業
- 町会加入率促進 ○市民体育館トイレ
- 市営住宅の収納状況 ○避難所体制



小田 桐 慶二
(憲政公明)

地域防災計画・避難所運営について

問 男女のニーズに配慮した避難所とは。

答 中長期化が予想される場合は女性職員を配置する。更衣室や授乳室など、プライバシーに配慮したスペースの設置を考えている。女性の防災マイスターなどの活用とともに、女性の意見を反映できる仕組みづくりを考えている。

問 洋式トイレの設置状況などは。

答 小・中学校52校中18校で設置。仮設

・簡易トイレは備蓄等で整備していく。

問 食物アレルギー対応食の備蓄状況は。

答 アルファ化米や乳児用の粉ミルクを備蓄し、卵や小麦などのアレルギー特定原材料を含まないものである。

市役所立体駐車場と市民会館イベント

問 市民会館イベント時の対応は。

答 駐車場でのトラブル発生時は、速やかに原因車両を出庫させ、後続車両がスムーズに出庫できるよう対応する。



伏見 秀人
(無所属市民の会)

市民活動保険制度(案)の調査・研究結果

問 制度創設の検討について問う。

答 市民の皆さんが安心して市民活動に参加できるようにするためには、この市民活動保険制度はなくてはならないものと認識している。

今後、細部にわたって内容をつめ、平成27年4月には導入したいと考えている。

マラソンによる地域活性化

問 マラソンを通じた青函圏連携を問う。

答 八戸市、函館市、青森市、弘前市の4市のマラソン大会を巡ってもらう、「(仮称)青函4市マラソンラリー」の実施に向けた調整を進めている。

選挙投票率アップの対応策

問 ヒロロスクエアへ期日前指定投票所を増設することについて問う。

答 開設できれば、投票率向上や啓発効果が期待できるため、開設時期や費用対効果の面も含めて協議を進めている。



佐藤 哲
(自民の会)

医療行政問題を問う

問 中学生のピロリ菌除菌について。

答 胃がんの約8割がピロリ菌感染が原因とされ、早い段階で検査し除菌することは、健康を守るうえでは大切なものである。40歳以上の約7割が保菌者と言われ、年齢とともに感染率が上昇する。ピロリ菌検査対象年齢を40歳から55歳までとしているが、見直しについて今後とも弘前市医師会等と協議していきたい。

教育行政問題を問う

問 高校生への通学費の助成について。

答 今年度より県が授業料以外の教育費負担軽減のための制度を実施した。通学費の助成制度は西目屋村や北海道、京都府などで実施している。当市では通学費の助成制度はないが遠距離通学等の事情も反映される奨学金制度を設けている。今後、他自治体の事例を参考にしながら、通学費への支援制度を研究してみたい。



今泉 昌一
(無所属)

観光振興について

問 観光大使制度をどう考えるか。

答 現在、「津軽ひろさき応援隊」や「岩木山ふるさと大使」、「弘前PR応援サポーター制度」などがあり、当市の情報発信など、様々な形で協力をいただいている。観光大使については、他市の取り組み状況やその効果を見定めながら、まずは既存の制度等を継続し、引き続き当市のPRを実施していきたい。

弥生いこいの広場隣接地利活用について

問 利活用市民懇談会からの報告書提出後の経緯と現況について問う。

答 安全対策として、昨年度は集水塔の位置の測量等、26年度はロープ塔やトイレ跡などの危険施設等の解体撤去工事を実施した。また、25年に引き続き自然観察会も実施した。今後は、岩木山観光の振興策の一環として、弥生いこいの広場の在り方と一体的に検討していく。

掲載内容は一般質問の一部です。正確には会議録をご参照ください。会議録は、市立弘前図書館・市役所などで閲覧できます。また、弘前市議会ホームページの会議録検索システムでもご覧いただけます。

一般質問の写真は、平成25年6月以降に撮影した写真を使用しています。



野村 太郎
(憲政公明)

弘前ねぶたまつりの今後について

問 8月5日に発生した死亡事故から4カ月が経った現在、市の対応や関係諸団体が行ってきた取り組みの経過はどのようになっているのか。

答 事故直後の8月6日、主催4団体と全てのねぶた参加団体による協議会を開催し、「主催4団体と参加団体が協力して安全運行マニュアルを策定すること」「主催4団体と参加団体の数団体からな

るワーキングチームを組織し、安全運行に係る素案を策定すること」を決定した。これを受け、「弘前ねぶたまつり運行安全指針策定小委員会」を設置し、まつりのあり方全般について検討し、運行安全指針の策定を進めている。弘前ねぶた保存会や弘前警察署など関係機関等の意見も伺いながら、全ての参加団体による全体会議での協議を踏まえ、年度末を目途に指針を策定することとしている。



蒔苗 博英
(憲政公明)

りんご輸出の現状と拡大計画

問 りんご輸出の増減で産地の価格が形成され、本市の経済を大きく左右することから、震災後の輸出量の経過と、今後の輸出拡大について問う。

答 平成24年産の輸出量は前年比150%の14,898 t。25年産は同133%の19,889 t。26年産は円安等もあり10月が4,435 tと前年同月の2倍を超えている。東南アジアや極東ロシアなど新たな輸出先の

確保により、さらなる輸出拡大を目指す。

認定こども園普及の問題点と課題

問 平成27年4月から実施される認定こども園への移行に係る各施設の動向と、深刻化している保育士不足について問う。

答 保育所68カ所のうち20施設、幼稚園10カ所のうち5施設が移行予定。保育士の不足は、年度途中の児童数増減により必要保育士数も増減するため、不安定な雇用となっていること等が要因と考える。



石田 久
(日本共産党)

国民健康保険について

問 一般会計から法定外繰入を行い、国保料を引き下げる考えはないのか。

答 国保未加入の市民にも負担が生じるため、実施は考えていない。

弘前市民体育館の改修について

問 利用者からの冷暖房、古い観覧席や床等の改善・改修の要望について問う。

答 全市的な視点での施設配置の見直しや財政的な問題なども含め検討したい。

市営住宅緑地管理について

問 小学生が放課後、市営住宅内公園で草刈り機と接触し入院。管理主体は誰か。

答 共用部分の管理主体は入居者で、この団地では自治会にある。市では、注意喚起のほか、自治会等の自主的活動に対する保険加入の検討について助言した。〈その他の質問項目〉

○津軽地域保健医療圏自治体病院機能再編成推進協議会について



畑山 聡
(望雲会)

雇用の創出拡大と所得の増大について

問 自治体としての弘前市消滅回避のためにトップセールスによる大企業誘致を積極大胆に行うべきではないか。

答 地元企業による新增設を含めた工場等の立地に係る助成制度の見直しや企業の立地動向に関するヒアリング調査を実施するなど、地元企業の事業拡大の支援に加え、新たな企業の誘致を図るための環境整備を進めている。

弘前市に居住する者による住民投票について

問 自治基本条例案に「在日外国人は含まない」と何故明記しないのか。

答 他の条例等の制定改廃において、法令等の趣旨を損ねない範囲で、この条例の趣旨を尊重することを定めた。住民投票の規定でも、「市民」と明確に区別するため、「住民」という表現を用い、外国人について特別な扱いは要しない。

平成26年第4回定例会日程

(22日間)

○傍聴者の数:延べ46人(本会議6日間)

11月28日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
11月29日(土)～12月8日(月)	議案熟考
12月3日(水) 特別委員会	議会制度等調査
12月9日(火)～12月11日(木)	本会議 一般質問
12月12日(金) 本会議	一般質問、予算特別委員会の設置、議案付託
特別委員会	産業振興対策等調査

12月15日(月) 常任委員会	経済文教、建設、総務、厚生
12月16日(火) 特別委員会	予算審査
12月17日(水)～12月18日(木)	議事整理
12月19日(金) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

平成26年は、延べ319人(本会議26日)が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。





外崎 勝康
(憲政公明)

いじめ防止対策推進について

問 現状の具体的な状況と内容について。

答 重大事態の調査組織は、新たに条例により教育委員会の附属機関として設置予定。市全体の取り組みは、教育委員会と市長部局が連携しながら進めている。いじめ問題対策連絡協議会は、ひろさき教育創生市民会議を活用する方向。

さくらまつりについて

問 来年度の新企画について。

答 埋め立てた濠の中から間近に石垣を見たり、曳屋を見学できる展望デッキの設置や曳屋体験を考えている。

自主防災組織について

問 結成促進の活動等について。

答 各地区の除雪説明会に合わせて結成を促す説明会を行うなど、各地域に足を運んでいる。今後は、消防団からのアプローチなど取り組みをさらに強化していく。



小西 勇一
(日本共産党)

道徳教科化について

問 戦前、偏狭な「愛国心」教育が国民を戦争に駆り立てた反省もなく、安倍政権の「海外で戦争する国づくり」へ、再びゆがんだ「愛国心」を押し付けようとしている。道徳教科化についての見解を示せ。

答 特定の価値観を押し付け、主体性を持たず言われるままに行動するよう指導することは、道徳教育が目指す方向の反

対にあるものである。

米価下落について

問 「米作ってメシ食えねえ」「作り続けられる米価を保証せよ」の声が大きく上がっている。市としての支援策を示せ。

答 今後においても、水田農業の維持が図られるよう、水稻の生産、米価下落への備え、転作作物への誘導及び地元産米の消費拡大について、関係機関、団体としっかり連携しながら支援策に取り組む。



尾崎 寿一
(憲政公明)

プロ野球一軍戦誘致プロジェクトチームについて

問 チーム設置の経緯、具体的取り組み及び今後のスケジュールについて問う。

答 子供たちの夢を育むため、弘前市運動公園の防災拠点化事業とともに、身近に一流のプレーを見ることができ環境を整備し、プロ野球一軍戦誘致に繋がる「はるか夢球場」の改修についてチーム内で検討を進めている。平成29年度の一

軍戦開催を目標に、まずは来年度において二軍戦開催やソフト事業等の実施を検討している。子供たちへの指導や指導者の育成についての経験、実績があり、プロ野球一軍戦誘致についても、ハード、ソフト両面での活躍が期待できる人物を楽天球団から紹介していただき、市職員として採用する予定である。

<その他の質問項目>

○シティプロモーションについて

議長(田中 元)は採決に加わっていません。
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越藤 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	三上 惇	高谷 友視	下山 文雄	藤田 隆司	柳田 誠逸	藤田 昭	工藤 良憲
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○

議会本会議を傍聴しませんか 本会議(開会日、一般質問、閉会日)は、傍聴できません(午前10時開会)。市役所本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

定例会の一般質問のラジオ放送
FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問当日の午後8時から放送予定です。

平成27年第1回定例会日程(予定)
(2月13日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)
2月20日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
3月18日(水) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

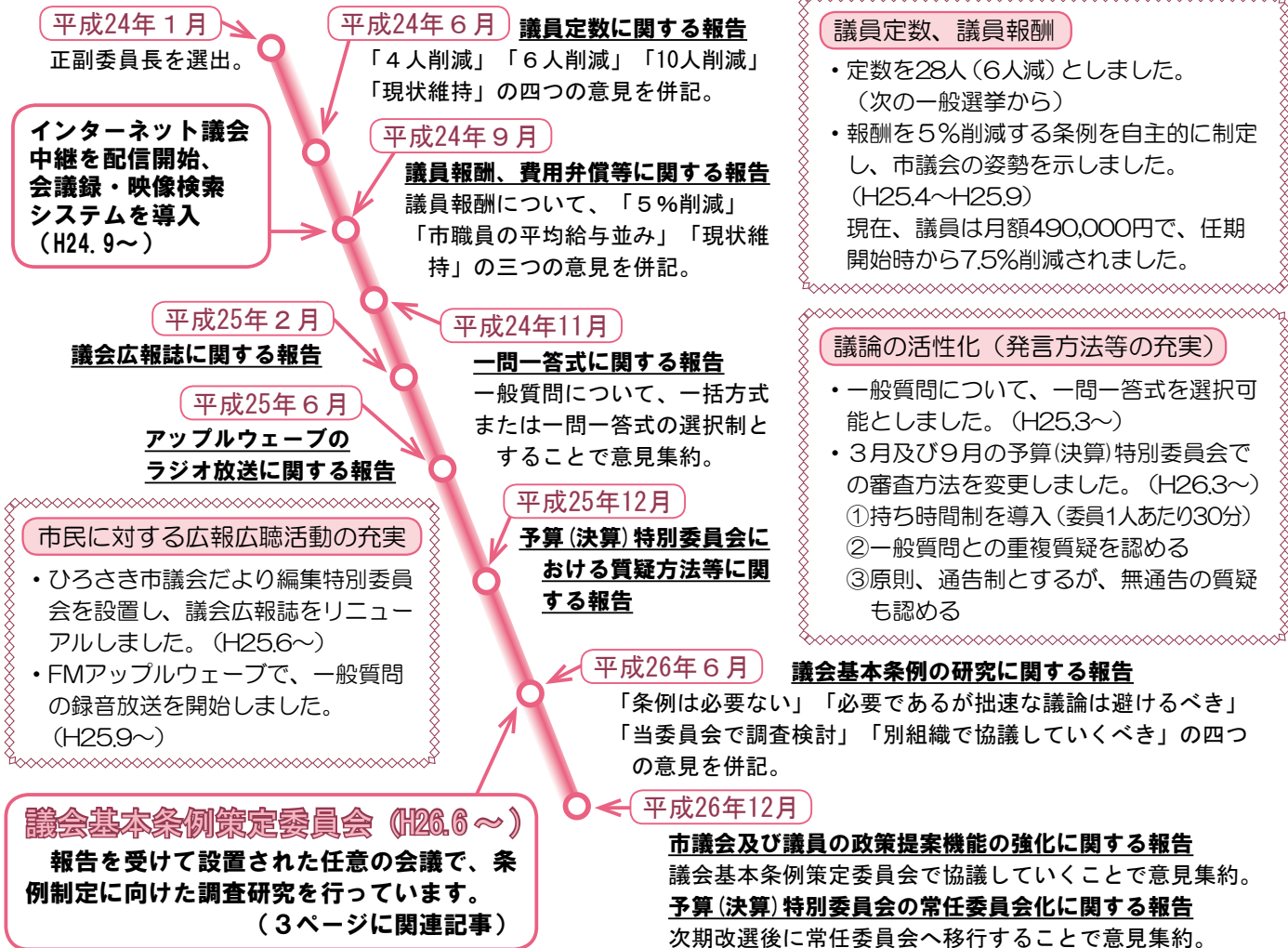
平成26年第4回定例会審議結果
※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。
市長提出議案: 47件
予算関係: 10件、 条例関係: 14件
その他: 23件

議会制度等調査特別委員会

～これまでの活動～

議会制度等調査特別委員会は、解散まで約3年間、付託事件に即して、会議を32回開催し、本会議での報告を8回行いました。

この間の弘前市議会の変革の内容を紹介します。



- ### 付託事件 (調査項目)
1. 議員定数に関する件
 2. 議員報酬、費用弁償等に関する件
 3. 市議会及び議員の政策提案機能の強化に関する件
 4. 市民に対する広報広聴活動の充実に関する件
 5. 一問一答式などの会議規則に関する件
 6. 議会基本条例の研究に関する件
 7. その他議会制度改革に関する件

議員定数、議員報酬

- ・定数を28人(6人減)としました。(次の一般選挙から)
- ・報酬を5%削減する条例を自主的に制定し、市議会の姿勢を示しました。(H25.4～H25.9)
現在、議員は月額490,000円で、任期開始時から7.5%削減されました。

議論の活性化 (発言方法等の充実)

- ・一般質問について、一問一答式を選択可能としました。(H25.3～)
- ・3月及び9月の予算(決算)特別委員会での審査方法を変更しました。(H26.3～)
①持ち時間制を導入(委員1人あたり30分)
②一般質問との重複質疑を認める
③原則、通告制とするが、無通告の質疑も認める

議員の行政視察 (会派等一般行政視察)

自民の会(工藤良憲)

10月20日(月)～24日(金)

- ①三重県鳥羽市
○海辺のまち鳥羽出逢い応援事業
- ②和歌山県田辺市
○定住促進
- ③和歌山県紀の川市
○農業行政

無所属議員(栗形昭一・今薫)

11月4日(火)～6日(木)

- ①神奈川県鎌倉市
○シンクタンク
- ②愛知県刈谷市
○公共施設維持保全計画
- ③三重県松阪市
○財政と借金時計



紀の川市・JA紀の里 めっけもん広場



松阪市・説明を受ける様子

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は、こちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。